

お知らせ・INFORMATION

窓口情報提供

当ラウンジの新しいリーフレットが出来ました。
日本語、英語、スペイン語、中国語併記



外国籍区民用の生活マップをラウンジに用意しました。(英語、韓国語、スペイン語、中国語、ポルトガル語)



異文化理解の出前講座

平成22年度APEC開催時に実施した推進事業を引き継いで、今年度は金沢区にゆかりのある外国人を講師に迎え、小中学校交流授業の一環として下記の小学校に出前講座を実施します。

- ★高舟台小学校 2月21日(火)
講師: ヴィ トゥン ラムさん(ベトナム)
- ★西富岡小学校 2月21日(火)
講師: 宋 継臣さん(中国)
- ★六浦小学校 2月27日(月)
講師: 東恩納ガビーさん(ペルー)



No. 20
2012年1月20日発行

発行 金沢国際交流ラウンジボランティア会
〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸 22-2 横浜市立大学シーガルセンター2F
TEL: 045-786-0531 / FAX: 045-786-0532
URL <http://www.kanazawalounge.org/>

パネルディスカッション実施「各国の自然との共生」2011年11/27

開催の趣旨

平成23年3月11日に東日本が大地震に見舞われ、多くの犠牲者がでた。日本は地震国といわれ過去にも大きな災害に襲われているが、今回は原発事故が重なり壊滅的な被害を受け、日本人の意識と生活が大きな転換点に立っていることを感じた。

世界の中には日本人が想像もできない自然環境の中で生きている人々がいる。今回、4ヶ国のパネリストの方々に母国の自然環境と共生について紹介していただいた。(武田)



ジギャン・クマル・タバ氏

ネパールはヒマラヤ山脈の高山で飛行機を眼下に見る生活をしているが、葉っぱは血に、牛の糞は薪とするなど自然と共に生活し環境を守ろうという意識が強い。



前田ユタボン氏

タイは7月から大洪水が続き世界中の企業に影響を与えている。山林の伐採が原因である。対策を国全体で考える必要がある。



岩本アナリア氏

メキシコには水不足と大気汚染の大きな問題があったが、大気汚染の原因になっていた車の規制を行い今では改善されている。



宋 継臣氏

中国の黒竜江省は1年の半分は冬で「霜(ひょう)」が降ると農作物に大きな被害を与えるが人工で氷を水に変える砲を打つなどの対策を打っている。

日本語教室、かもめ教室 2月、3月の予定

日本語教室 10:00~11:30 交流室 *赤字の日は 場所がちがいます	にちようきょうしつ 日曜教室	2月	5日	12日	19日	26日(いきいきセンター)
		3月	4日	11日	18日	25日
	かようきょうしつ 火曜教室	2月	7日	14日	21日	28日
		3月	6日	13日	27日	
*赤字の日は 場所がちがいます	もくようきょうしつ 木曜教室	2月	9日	16日	23日	
		3月	1日	8日	15日	22日
かもめ教室	どようきょうしつ 土曜教室	2月	4日	18日	25日(金沢地区センター大会議室)	
		3月	3日	10日	17日	24日
		2月土曜	4日	18日	25日(金沢地区センター大会議室)	
		2月日曜	5日	12日	19日	26日(いきいきセンター)
かもめ教室@並木		3月土曜	3日	10日	17日	24日
		3月日曜	4日	11日	18日	25日
		【2月】3日 10日 17日 24日: 【3月】2日 9日 16日 23日				

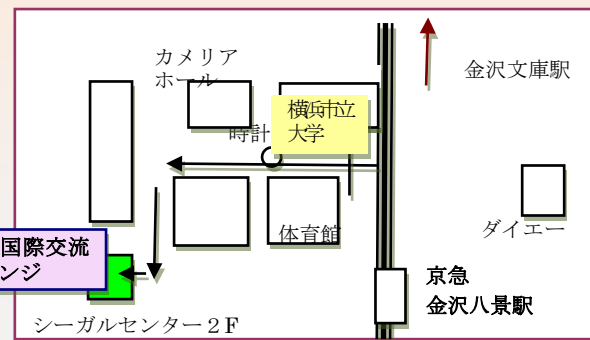
★ラウンジ窓口のご案内★

《開館時間》日・火・水・木・金・土 9:00~17:30

月、祝日、市立大学指定休 休館

〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸 22-2

横浜市立大学内 シーガルセンター2階



☎ 045-786-0531 Fax 045-786-0532

多言語で相談

毎週火曜日 13:00~17:00 スペイン語
los martes de la tarde(13:00~17:00)
Consulta en español

毎週水曜日 9:00~13:00 中国語
毎星期三 9:00~13:00 中国語

➤【日本語教室】 場所: 金沢国際交流ラウンジ
にちようび かようび もくようび どようび
日曜日 火曜日 木曜日 土曜日 10:00~11:30

➤【かもめ教室】
ラウンジ 土曜日 日曜日 10:00~11:30
並木教室 金曜日 15:00~16:30

➤【外国につながるこどものための教育相談】ラウンジ
毎週金曜日 13:30~17:30 専用 ☎045-786-0534



4ヶ国の自然環境の大変さはそれぞれだが、どの国も自然とともに生きていく工夫をしている。地域で助け合い環境を守ろうという意識が強いと感じた。日本は物資的に豊かであるが、心の余裕がない生活を送りがち、もっと自然に目を向けることが大事である。日本の今後の自然共生について考えていきたい。

横浜市大生との交流“生協パーティ”

2011年12月3日

金沢国際交流ラウンジは、横浜市立大学内のシーガルセンターの2階にあります。市立大学の生協は1階には食堂、二階はショップがあります。学生の活動の中に学生生協委員会(warp)があり、今回初めて“交流パーティ”を共催で開くことになりました。たくさんの市大生、留学生、ラウンジ会員、日本語学習者が参加し、楽しいプログラムの中で話もはずみました。



プログラム



タイムスケジュール

13:00	開場
13:05	開会式
13:20	スナック披露
13:30	イス取りゲーム
13:55	生協PR・おにぎり配布
14:05	おにぎりによる朗読
14:30	民謡 阿部
14:45	ビンゴ大会
15:10	トーンチャイム演奏
15:25	閉会式



日本語・韓国語で読む絵本
金 瑛璃, 金 瑛珉
日本語・中国語で読む絵本
林 健懿



生協食堂の運営に関して

会場から生協の利用に関するアンケートを書いてもらいました。

店長より
こんな料理が食べたい、お国自慢の料理などを教えてください。皆さまの声を聞いていきたいと思っております。よろしくをお願いします。

学生協委員 warp 委員の市大生より

今回、パーティを企画するにあたり、先輩から「せっかくなのでラウンジと協力したらどうか」という提案を頂き、金沢国際交流ラウンジさんにお話をさせていただきました。準備はなかなか時間を合わせる事ができず、横浜市立大学生協総代・学生生協委員会 Warp でほとんど進めてしまったので、もう少しラウンジさんと協力できたらよかったな、と反省しています。当日はこちら側の広報不足で一般学生をあまり集めることができませんでした。全イベントが大いに盛り上がり、運営していてとても楽しかったです。中でも民謡は、全員参加型で盛り上がり、かつ外国人の方々に日本の文化を紹介する、とてもいい場になったと思います。私は、出し物の一つであるトーンチャイムに参加させていただいたのですが、本番がいちばん良い演奏でした。久しぶりに楽器に触り、元吹奏楽部の血が騒ぎました！

最後に、参加して下さった皆様、本当にありがとうございました。(佐藤綾)



ビンゴ大会



いすとりゲーム



民謡歌手 阿部きみえさん



♪ ☆星にねがいを♪

トーンチャイム (市大生、ラウンジ合同)

多文化共生・ワークショップ実施

平成23年12月15日、市大の「いちょうの館」にて横浜市立大学坪谷美欧子先生、滝田祥子先生を講師にむかえ、ラウンジ会員、市立大学生、地域住民とともに「多文化共生への取り組みー外国人と日本人の共生を阻んでいるものは何か」のテーマに沿って、考えました。

外国人への聞き取り調査からわかったこと

まず日本語教室で学んでいる学習者に 日本での生活について、不安に思っていること、困ったときどうするか、行政・ラウンジに望むことなどを聞きました。

結果

不安に感じていること

- ① ことば(日本語)の問題
- ② 将来への不安

I 「不安を取り除くには？」 グループでの話し合いより

- ・共生を阻んでいるものは「ことば」ではなく、コミュニケーションの方法が足りないのではないのか。
- ・お互いにどこまで踏み込んでいけばよいか
- ・外国人にサポートしようと構えるのではなく地域でより自然に交流ができないだろうか。(外国人より)



II 「相談窓口として何ができるか」

- ・行政や銀行からきた手紙は何が書いてあるかわからず、不安になる。相談する日本人がいない。
- ・行政窓口にも、多言語が出来る担当がいればよい
- ・外国人も自分から勉強したり、聞いたりすることが大切
- ・入試のこと、センター試験のことなどについてもっとわかりやすい多言語情報がほしい。



講師より

坪谷先生、滝田先生

- ・日本人、外国人という区別なく考えることが大切
- ・違いに気づき、知る。平等=同じではない。
- ・行政には“ワンストップ”のコーディネーターが必要
- ・日本人同士、共生できているか？社会全体でつながっていく、つなげていくことを考えたい

出席者 38名 (外国人5名)

文化庁委託事業「日本語ボランティア育成講座」を終えて

平成23年7月8日から12月2日の金曜日(全15回)「おしゃべり型日本語交流活動ー日本語ボランティア育成講座ー」が実施されました。この講座は千駄ヶ谷日本語教育研究所が文化庁委託事業として主催し、金沢国際交流ラウンジボランティア会が共催で行いました。

この講座は、外国人に日本語学習支援をしているボランティアが、最近注目されている「おしゃべりで学ぶ」という新たな支援方法を学び、交流の中から文型や文法項目にもスポットを当て、日本語支援をしていくための実践能力の育成を図ることを目的としていました。

講師として、東京外国語大学教授 伊東祐郎先生、千駄ヶ谷日本語教育研究所専任講師 吉川正則先生他3名の先生方からのご指導がありました。受講者は44名(ラウンジ会員、市大院生、市大生、区役所関係者)で、受講最終日には全員に受講証明書が授与されました。



【外国人学習者の協力】

この15回の講座の中で最も主要な活動であった「外国人学習者との交流活動」は3回実習が行われ、延べ24名の学習者に協力していただきました。



【今後に向けて】

受講者からは、「従来型の文法積み上げ式の指導でなく、新たな支援方法を学ぶことができよかった。」「教育も変化してきている。今は一方通行でなく対等の立場で共に学ぶことが大切だと感じた。」等の声が多く聞かれました。本講座で学んだことをいかに活かしていくかが今後の課題であります。(日本語部 石丸玲子)